



チーフストラテジスト 瀧山裕二の Weekly Letter

第79回「株式投資を考える」

先日、インターンシップ制度を利用して弊社に来られた学生さんや今年入社した新入社員の皆様に「株式投資の考え方」をお話しさせていただきました。

今週は私の株式投資の考え方をお伝えしたいと思います。

～株式投資について～

一般的な株式投資のイメージは、上昇基調の強い株を買い、その後の上昇局面で売り抜けて収益を稼ぐことと考える方が多いと思います。そのような売買を繰り返すことで多くの収益を積み上げられると想像されるでしょう。このような投資手法は一日のうちに売買を行うデイトレーダーの投資手法です。勿論、収益を稼げれば良いですが、一日の午前と午後で相場付きが全く変わってしまえばうまく稼げず、ひどい時には、それまで積み上げていた収益が一気になくなる場合もあるでしょう。このように株式相場は短期間では生き物のように動き、その動きに追随するためにはずっと市場を見続ける必要があります。これは、働いている方には到底できないことです。

～投資の考え方～

私の株式投資の考え方は、企業業績の変化を予想し、先取りをすることで収益を得るというものです。

ある企業の製品売り上げが景気の鈍化やライバル会社の成長などによって減速し、企業業績は低迷、株価も下落している場合を考えてみます。その企業はこのような逆境の中で次の成長製品の開発を模索し、設備投資を実施することで将来的な業績成長を目指す経営戦略を示し、実行すれば、やがて成長路線に回帰し、業績も拡大し株価は上昇すると考えます。投資期間は少し長くなるでしょうが、その分、得られる収益も拡大します。時間をかけて企業の変化に投資をすることで大きな収益を上げることが出来ます。

長期投資をすることが基本とよく言われますが、いったいどのくらいの期間が必要なのでしょう？

私は、製造業の在庫循環（在庫が積み上げ始めてからその在庫が掃けるまで）が一般的に3年程度とされているので、その期間を目安として3～5年程度の投資期間を想定しています。

では、収益はどの程度を目指しているのかですが、3年で30%程度の収益を目指しています。

30%程度というとても高い目標に見えますが、1年間の平均にすれば10%程度となり、それほど高い目標とは言えません。

～銘柄選択のポイント～

では、どのような銘柄を選択するのかですが、私は財務体質のしっかりしている大型企業を第一候補とします。日本の製造業はおおむねROE（自己資本利益率＝利益÷自己資本）が低く株価が低迷している企業が多く、株価が割安圏に置かれがちです。ただ、ROEが低いということは、見方を変えると自己資本が大きいということです。このため日本の製造業の会社は事業継続性の観点から、景気変動を受けにくく倒産しにくいと考えます。先に述べた投資期間3～5年の間、投資を継続できる会社が銘柄選択の重要な要素になります。

もう一つ銘柄選択で大事なことは、株価が直近の高値から2割以上値下がりし、株価が下落し始めてから1年以上経過している銘柄が狙い目と考えます。業績悪化で株価が下落し、あきらめて株を損切りする方が出尽くしている可能性が高くなるからです。このような銘柄で業績が底打ち反転し始めると、株は買われ大きく上昇します。

以上が私の投資の考え方です。株式投資の考え方で絶対的な正解はありません。投資家それぞれの考え方で全く違うものになります。皆さんのライフスタイルに合わせた投資の考え方を模索してください。ご自身でじっくりした投資の考え方が決まれば資産運用も楽しいものになると思います。

迷われたときは是非、弊社の営業職員にご相談ください。親身になってお手伝いさせていただきます。